

PET 解析ソフトウェアの計測精度に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月までの間に名古屋大学医学部附属病院アイソトープ PET 検査室で行われた F18-FDG PET 検査を行った 50 症例

2. 研究目的・方法

PET 検査において集積度評価では standardized uptake value (SUV)を用いる。SUVmax、SUVpeak、SUVmean は悪性腫瘍の治療効果判定などに用いられており、その値を治療前後で比較することで、最適な治療方針を決定する。また近年では SUV 以外に metabolic tumor volume (MTV)、total lesion glycolysis (TLG)も注目されている。これらの指標は臨床で多く用いられているが投与量、投与から撮像までの時間など様々な要因の影響を受け、値が変動することが知られおり数多くの検討がなされている。しかし、同一の PET データを用いても、指標を算出する PET 解析ソフトウェアが異なると指標に差が生じることがある。本研究の目的は複数の PET 解析ソフトウェアを用いて指標を算出し、差が生じるかを調べ、差が生じた場合はその要因について検討することである。

平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月までの間に名古屋大学医学部附属病院アイソトープ PET 検査室で行われた F18-FDG PET 検査を行った 50 症例に対して、各 PET 解析ソフトウェアを使用して SUV、MTV、TLG 等の指標を算出する。ソフトウェア間で指標の値を比較し、差が生じた場合にはその原因について検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、生年月日、性別、カルテ番号 等

試料：PET/CT 画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先
名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻

名古屋市東区大幸 1-1-20

TEL 052-719-1504

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻医用量子科学講座
教授・加藤克彦

名古屋市東区大幸 1-1-20 052-719-1950

katokt@met.nagoya-u.ac.jp

-----以上